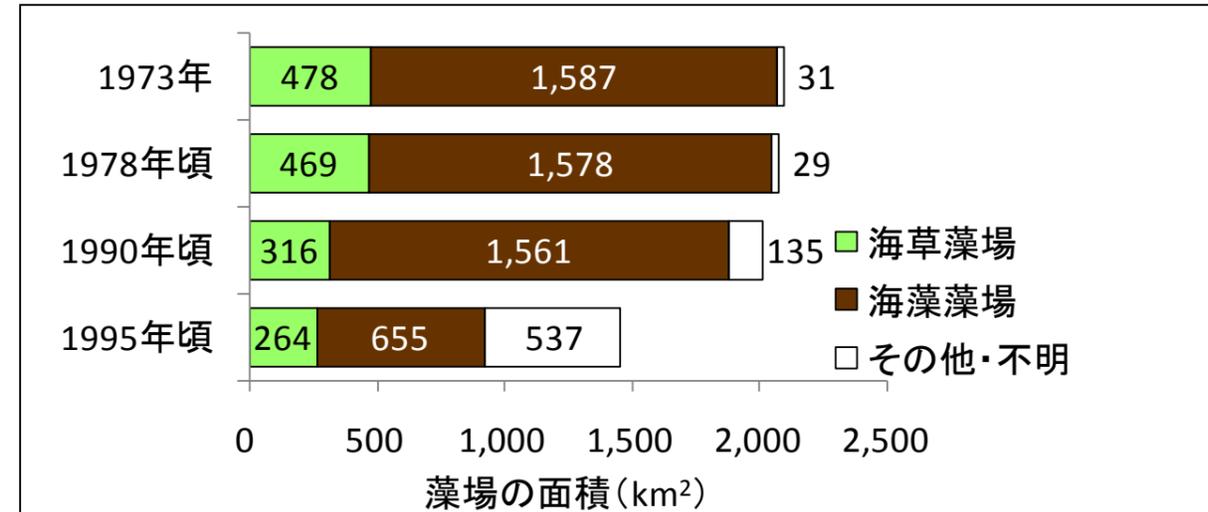


沿岸の変化に伴う海生生物への影響の事例

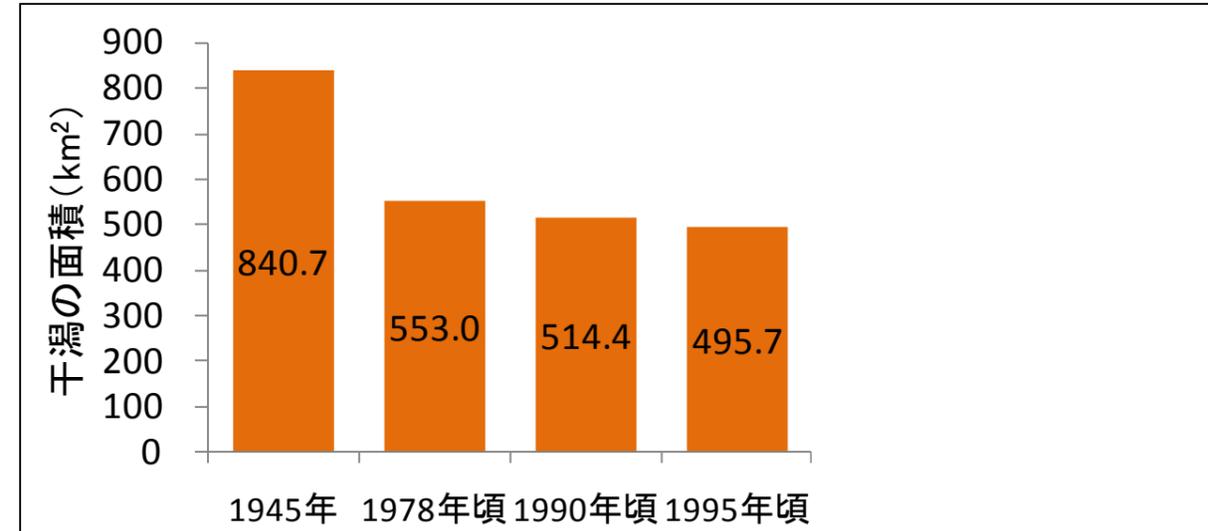
- 沿岸の主要な生物の生息環境の一つである藻場と干潟は共に減少している。
- 呉市周辺の海岸生物では、1960年代前半から1970年代前半にかけての高度経済成長期に急激な種数の減少が認められる。
- 東京湾ではほとんどの干潟が消失し、漁獲量も大きく減少している。

藻場面積の推移



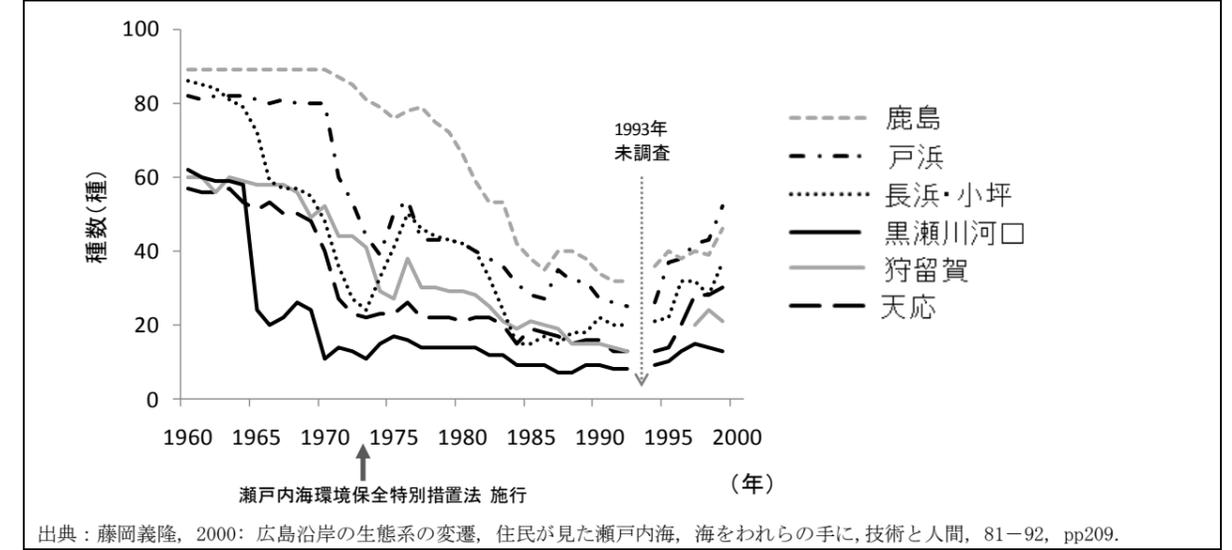
注1 「その他・不明」は、調査時に指定された藻場タイプ（アマモ場、コンブ場、ガラモ場等）に当てはまらない海草・海藻類を示す。また、1995年頃では複数の藻場タイプが1カ所に含まれるものも「その他・不明」に含む。
 注2 藻場の面積については、前2回の調査が水深20mまでを対象としていたのに対し、水深10mまでを対象としているため直接的な比較はできない。
 注3 1973年の藻場の面積は、1978年頃の面積に1973年から1978年頃までの消滅面積を加えて算出した。
 出典：環境庁，1981：第2回自然環境保全基礎調査海域調査報告書，海岸調査，海域環境調査，干潟・藻場・サンゴ礁分布調査（昭和56年/全国版）。（調査データは1978年頃）
 環境庁，1994：第4回自然環境保全基礎調査，海域生物環境調査報告書，第2巻藻場（平成6年）。（調査データは1990年頃）
 環境庁，1998：第5回自然環境保全基礎調査海辺調査，総合報告書（平成10年）。（調査データは1995年頃）

干潟面積の推移



出典：環境庁，1981：第2回自然環境保全基礎調査海域調査報告書，海岸調査，海域環境調査，干潟・藻場・サンゴ礁分布調査（昭和56年/全国版）。
 環境庁，1994：第4回自然環境保全基礎調査，海域生物環境調査報告書，第1巻干潟（平成6年）。
 環境庁，1998：第5回自然環境保全基礎調査海辺調査，総合報告書（平成10年）。

広島県呉市周辺における海岸生物の種類数の変化



東京湾における干潟の減少と漁獲量の変化

